

背教と、回復の必要性を、理解する

新約聖書 セミナリー手引き

次の聖句と、ラッセル・M・ネルソン大管長の言葉を研究して、以下の質問に答えてください。

1. 1ニーファイ13：24–28。ニーファイ、聖書の中の重要な真理に何が起きてしまうかを示現で見る。
 2. アモス8：11–12。アモス、迫り来る霊的な飢饉について、預言する。
 3. 使徒20：29–30。パウロ、救い主の教会の会員たちが福音から迷い出ることを、警告する。
- ラッセル・M・ネルソン大管長は、次のように教えています。



「生ける神は愛に満ちている神です。神はその子供たちが神と神から遣わされたイエス・キリストを知るようにと願っておられるのです。そして、子供たちに不死不滅と永遠の命を得てもらいたいのです。

この輝かしい目的のために、教会の宣教師は回復について教えます。宣教師は、およそ2,000年前に主が御自分の教会を設けられたことを知っています。主の十字架の刑と使徒たちの死後、人々は教会とその教義を変えました。その後、霊的な暗黒の時代を経て、昔の預言者たちが預言したように、天の御父とイエス・キリストが教会とその教義と神権の権能を回復してくださいました。その回復のおかげで、すべての人が救いと昇栄に関する知識と必要な儀式を再び得られるようになりました。究極的に、わたしたちは昇栄すると、神とイエス・キリストのみもとで永遠に家族とともに住むことができるのです。」（ラッセル・M・ネルソン「波に乗る」『リアホナ』2013年5月号、46）

- これらの聖句とネルソン大管長の言葉から、大背教について何を学びましたか。
- これらの教えを通して、天の御父とイエス・キリストについて、どのようなことを学びましたか。
- 学んだことを基に考えると、なぜ回復は必要だったのでしょうか。